

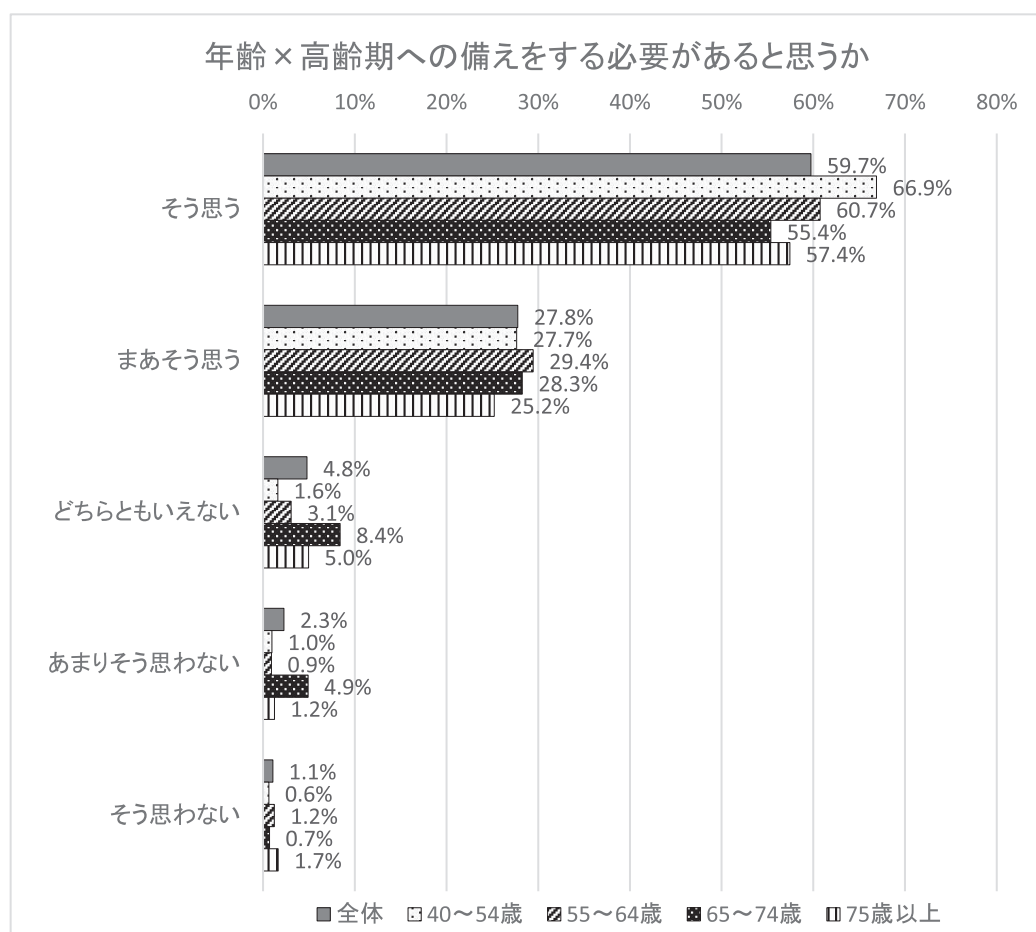
3 高齢期への備え

退職や高齢期に備えて何らかの準備をする必要があると思うか、退職者が地域活動に参加するにあたり地域社会に必要なこと等について、調査を行った。

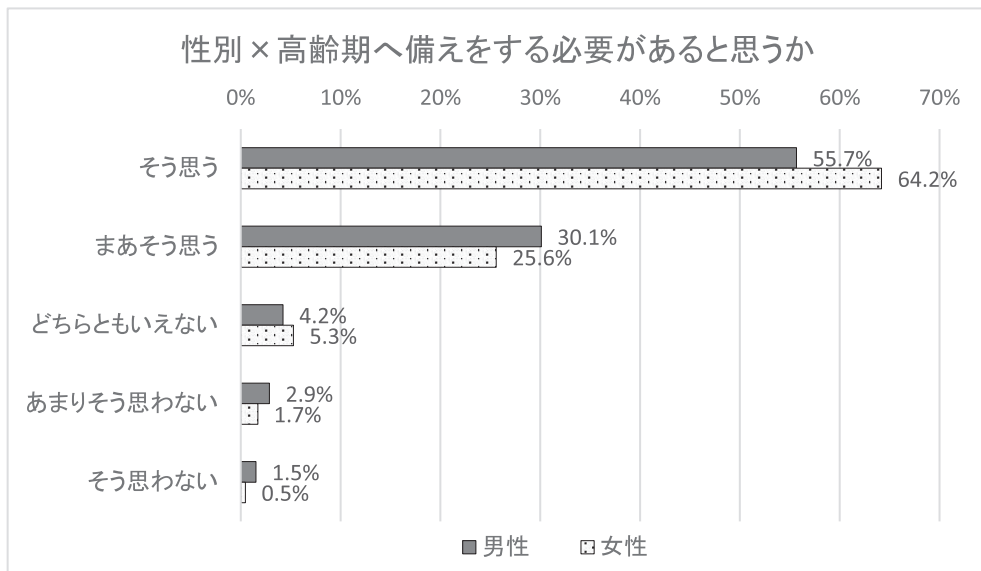
調査結果のポイント

- 約9割が、高齢期に備えた準備が必要と考えている
- 高齢期への心がけは、健康維持・増進が最も高い。また、40～54歳の67.8%が経済的基盤をつくることを心がけている
- 退職者が地域活動に参加するためには、活動の機会を提供することが必要と回答した人が最も高く45.7%となっている

【備えの必要性】

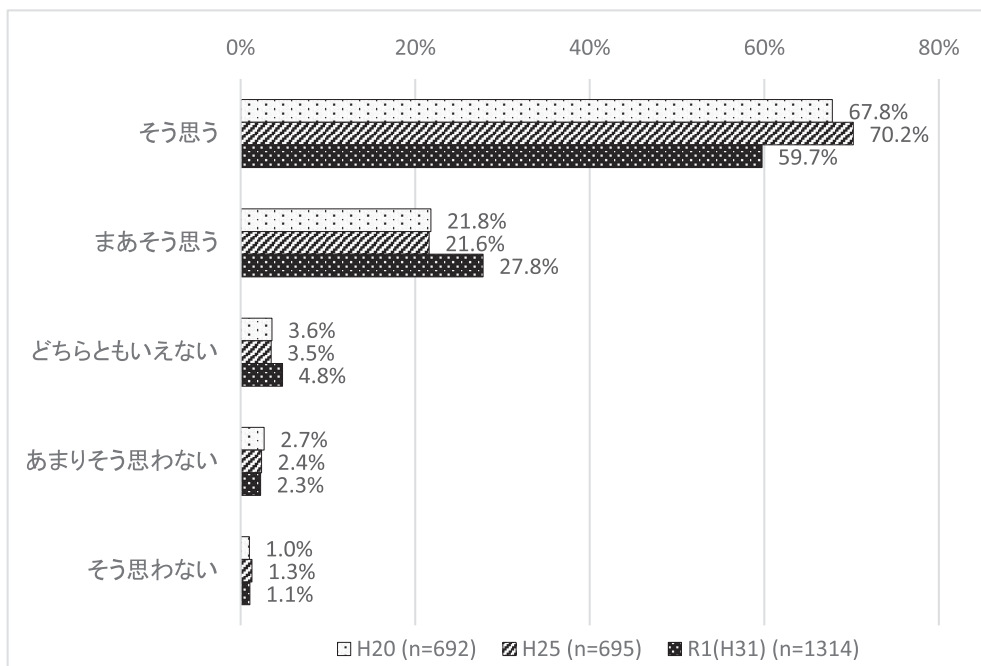


- ・「そう思う」と「まあそう思う」を合わせると、全体では、87.5%の人が退職や高齢期に備えて何らかの準備をする必要があると回答している。
- ・「そう思う」と回答した人は、年齢が上がるにしたがって減少傾向にある。
- ・「まあそう思う」と回答した人は、55～64歳が29.4%と最も高くなっており、75歳以上が25.2%と最も低くなっている。
- ・「どちらともいえない」と回答した人は、65～74歳の8.4%が最も高くなっており、40～54歳が1.6%と最も低くなっている。
- ・「あまりそう思わない」と回答した人は、65～74歳の4.9%が最も高くなっており、その他の年齢の人は約1%となっている。



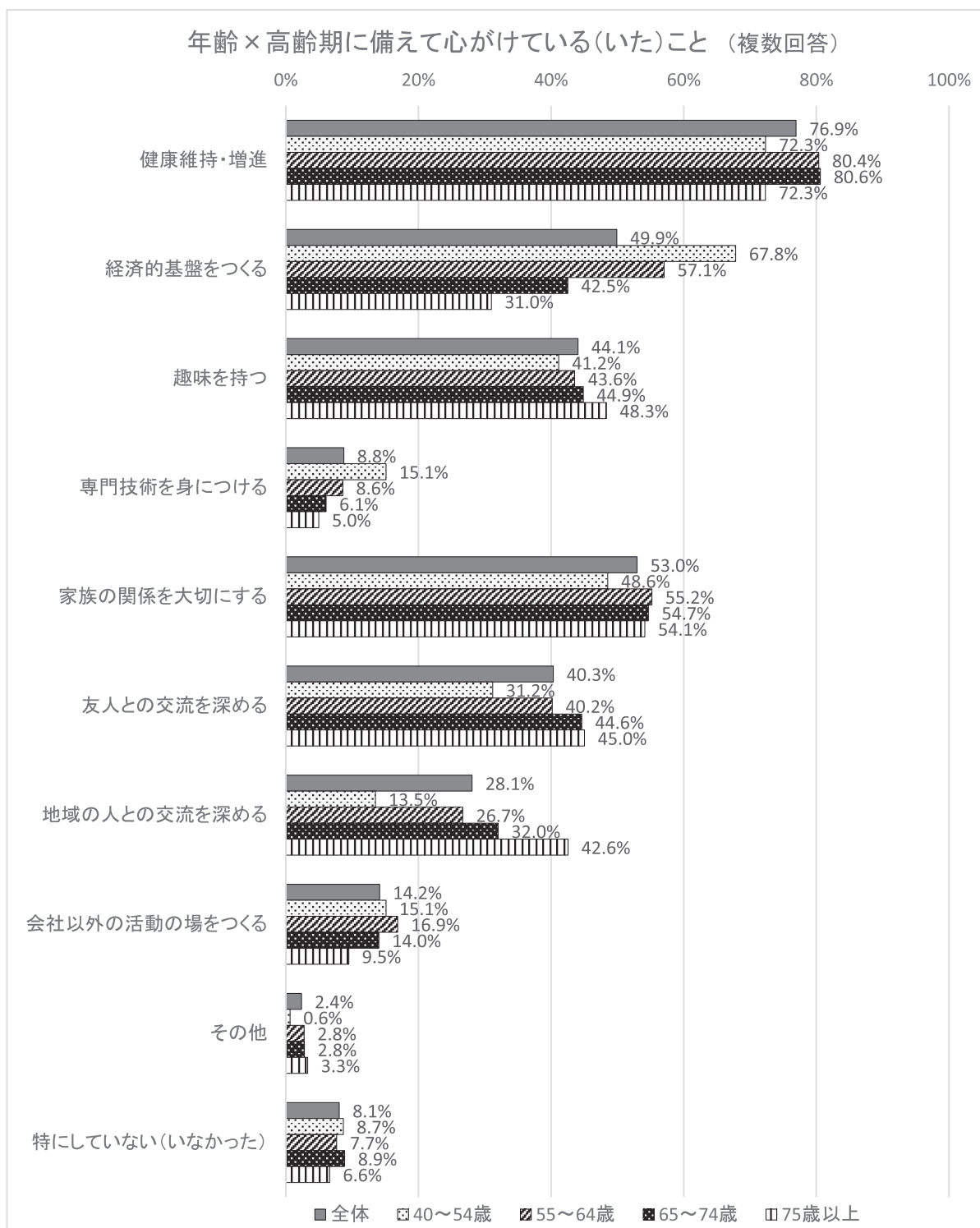
- ・「そう思う」と回答した人は男性 55.7%に対し女性 64.2%と女性の方が高くなっている一方、「まあそう思う」と回答した人は男性 30.1%、女性 25.6%と、男性の方が高くなっている。

【経年比較：高齢期へ備えをする必要があるか】



- ・「そう思う」と回答した人は、平成 20 年 67.8%から平成 25 年 70.2%に上昇、今回 10.5 ポイント減少し、59.7%と過去最低となった一方、「まあそう思う」と回答した人は 27.8%に増加し、過去最高となっている。
- ・「どちらともいえない」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」については、あまり変化していない。

【心がけ】

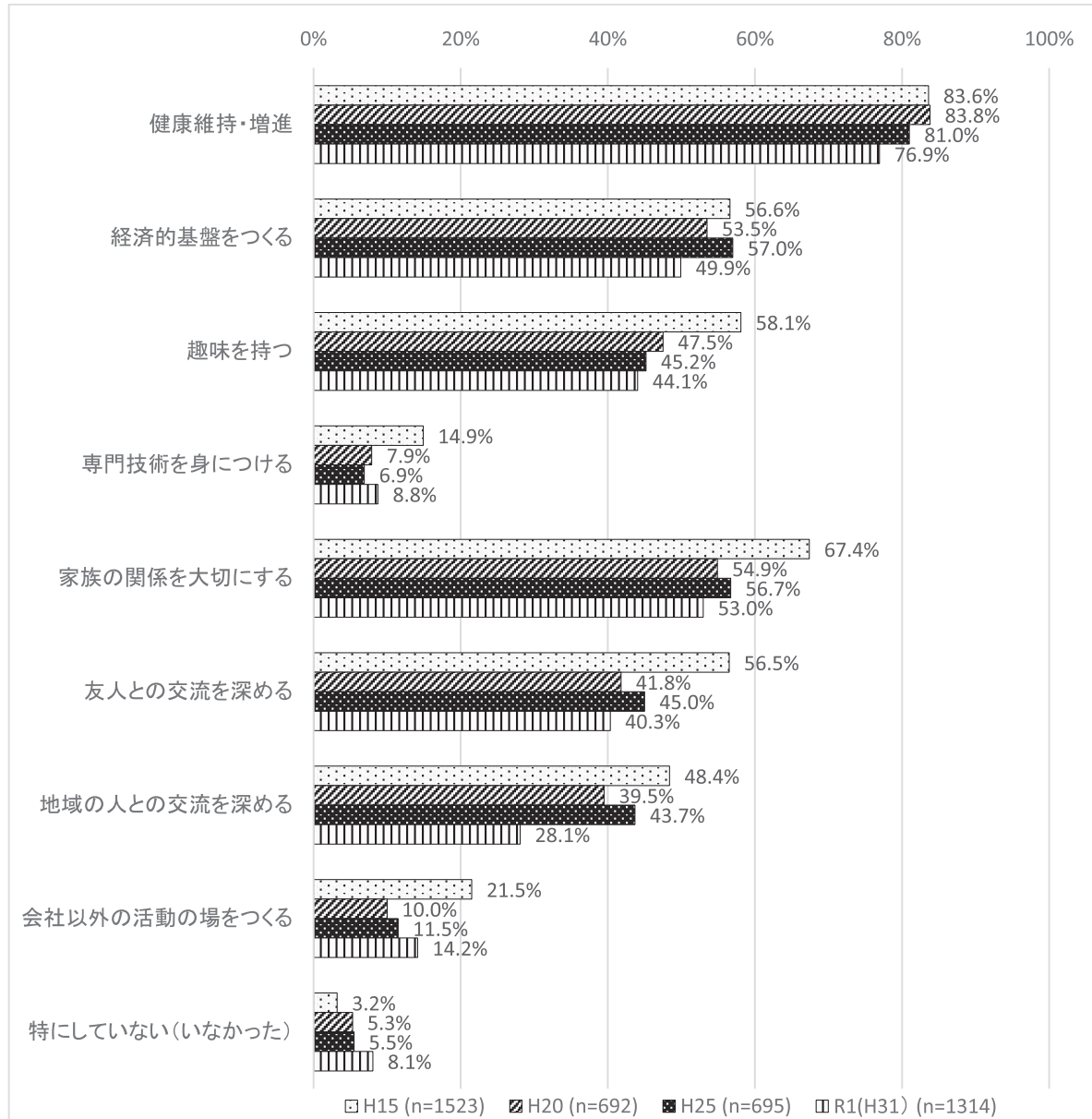


- すべての年齢において、「健康維持・増進」が最も高くなっている。
- 「経済的基盤をつくる」が40～54歳で67.8%と最も高く、年齢が上がるにしたがって減少し、75歳以上で31.0%となっている。
- 「趣味を持つ」「友人との交流を深める」、「地域の人との交流を深める」は、年齢が上がるにしたがって増加している。
- 「専門技術を身につける」は、年齢が上がるにしたがって減少している。
- 「家族の関係を大切にする」は、40～54歳で48.6%であるが、その他の年齢では55%前後となっている。

(その他の回答)

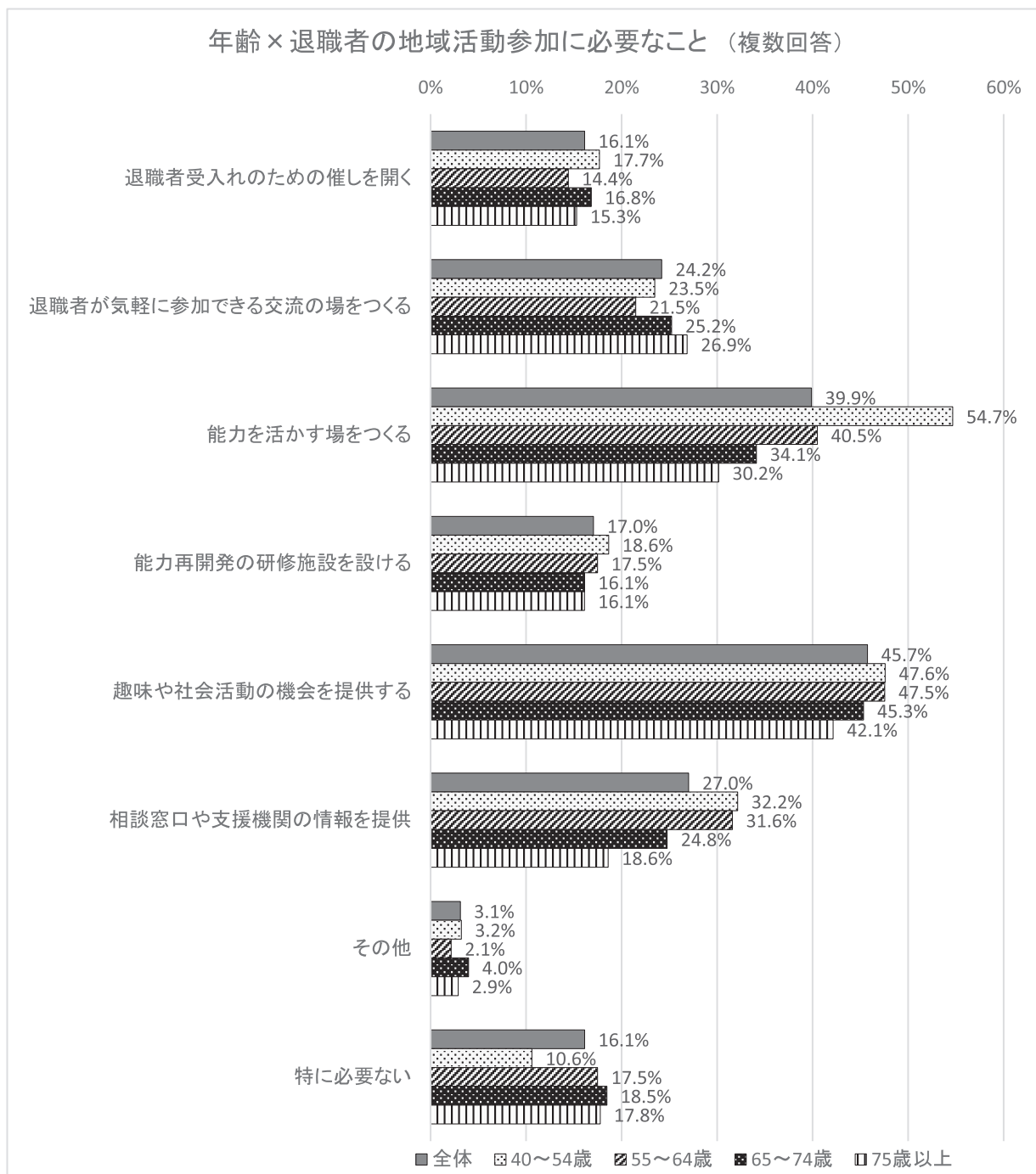
高齢期に備えて心がけている (いた) こと (複数回答)	
社会貢献	近隣や地域の人との良好な関係を保つ努力
畑を作っている	一般・地域や高齢者・青少年に対するスポ・レク
ボランティア活動	ボランティア

【経年比較：高齢期に備えて心がけている (いた) こと】



- ・「健康維持・増進」、「趣味を持つ」、「家族の関係を大切にする」、「友人との交流を深める」、「地域の人との交流を深める」が過去3回の調査と比べ減少傾向にある。
- ・特に「地域の人との交流を深める」の減少が顕著であり、今回は過去最低の28.1%となっている。
- ・「特にしていない (いなかった)」は、増加している。

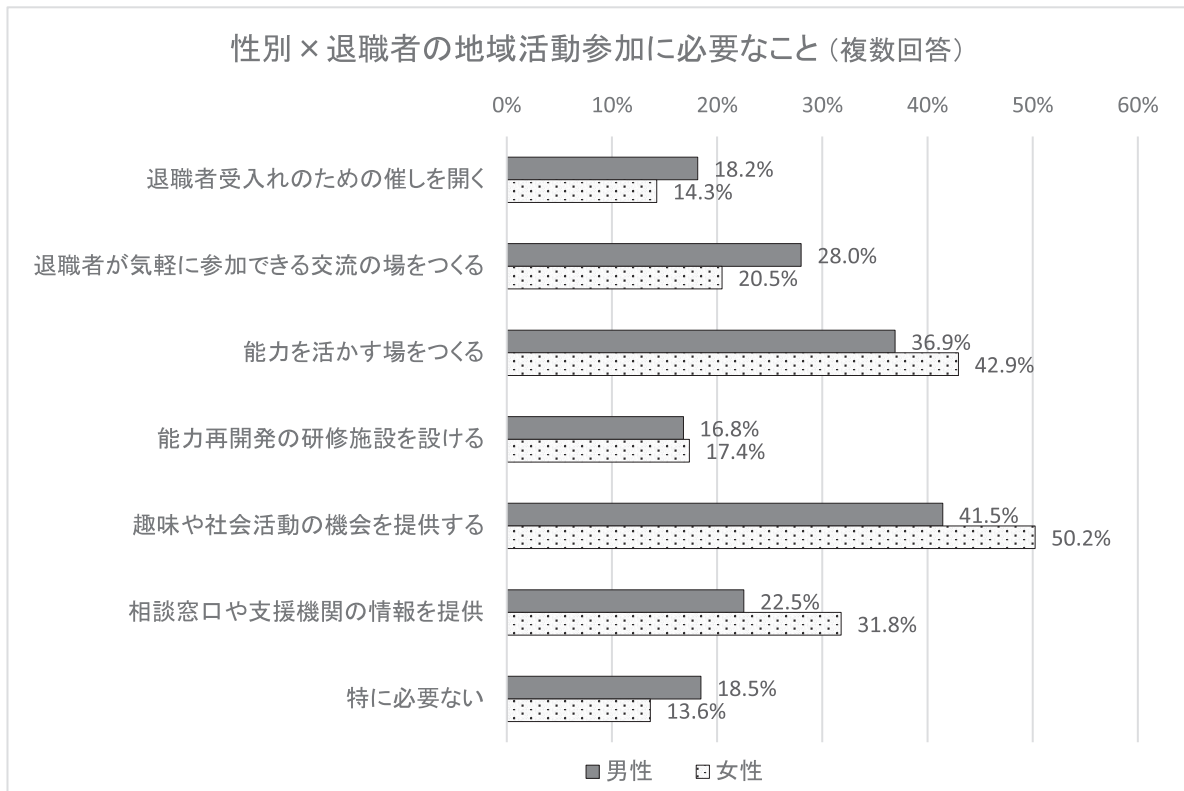
【退職者の地域活動参加に必要なこと】



- ・全体で見ると、「趣味や社会活動の機会を提供する」が 45.7%と最も高く、次いで「能力を活かす場をつくる」39.9%、「相談窓口や支援機関の情報を提供」が 27.0%となっている。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにしたがって「能力を活かす場をつくる」、「趣味や社会活動の機会を提供する」、「能力再開発の研修施設を設ける」、「相談窓口や支援機関の情報を提供」は減少傾向にある。
- ・また、40~54歳では最も高い項目が「能力を活かす場をつくる」であるのに対し、その他の年齢は「趣味や社会活動の機会を提供する」となっている。
- ・「特に必要ない」は、年齢が上がるにしたがって増加傾向にある。

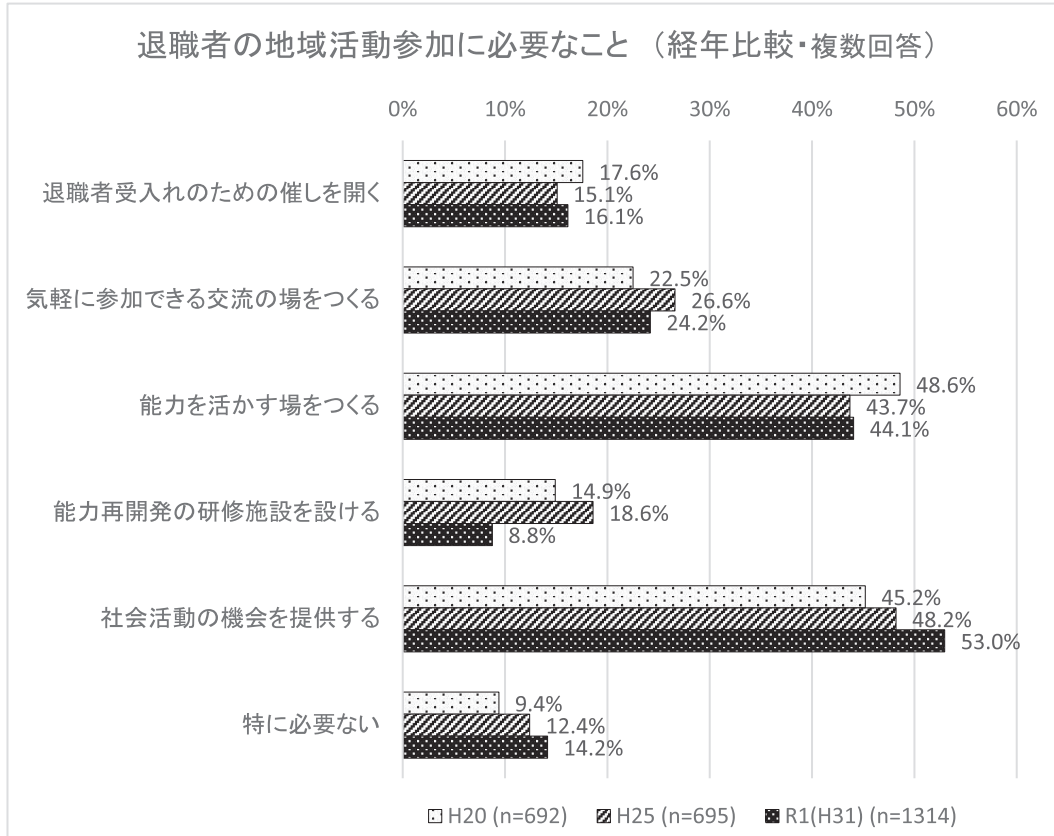
(その他の回答)

退職者の地域活動参加に必要なこと（複数回答）	
本人が参加したいと思う気持ちが大切	受け入れる側との対話
体力維持のためのスポーツ関連の場が必要	自治会程度の範囲でだれでもお茶を飲んだりお話ししたりするところがある
地域の行事があるときは声をかけあう	とみんなが出てこれると思う



- 男性の方が必要と回答した人が高い項目は、「退職者受入れのための催しを開く」、「退職者が気軽に参加できる交流の場をつくる」となっている。
- 女性の方が高い主な項目は、「能力を活かす場をつくる」、「趣味や社会活動の機会を提供する」、「相談窓口や支援機関の情報を提供」となっている。
- 「特に必要ない」は、男性の方が女性より高くなっている。

【経年比較：退職者の地域活動参加に必要なこと】



- ・「能力再開発の研修施設を設ける」は、前回（H25）調査から半減し、8.8%となっており、過去最低となっている。
- ・「社会活動の機会を提供する」は、次第に増加し、今回 53.0%と半数を超えている。
- ・「特に必要ない」は、次第に増加し、今回 14.2%となっている。